

平成28年度使用教科用図書（中学校）採択基準

1 記述内容に関すること

- (1) 学習指導要領に示されている教科等の目標を的確に反映しているか。
- (2) 県教育委員会の「学校教育の方針と重点」の趣旨の実現に対応しているか。
- (3) 生徒の心身の発達段階を考慮し、学習意欲を高めるように工夫されているか。
- (4) 内容を精選して、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されているか。
- (5) 内容や資料に偏りがなく、資料の出所、出典が明示されているか。

2 組織と配列に関すること

- (1) 内容が組織的、系統的に配列され、学習の効果があがるよう配慮されているか。
- (2) 教科等の目標を踏まえて、各章、各節のねらいが明確で内容のまとまりがあるか。
- (3) 基礎的・基本的な事項と発展的な事項が適切に配列されているか。
- (4) 内容の分量や区分が、各学校の年間指導計画に広く対応できるか。
- (5) 教材の配列が、生徒の生活や地域の実態に広く対応できるか。

3 学習と指導に関すること

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成をすすめられるよう配慮がなされているか。
- (2) 生徒の経験や興味を大切にし、学習の動機付けや自主的な学習を促すよう配慮されているか。
- (3) 生徒の多様な能力や特性に広く対応できるか。
- (4) 他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されているか。
- (5) 学習の手引き、挿絵、図表、写真等は適切に配置されているか。

4 表現と体裁等に関すること

- (1) 表記、表現が学年に応じて適切であるか。
- (2) 生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されているか。
- (3) 活字の大きさや字体は適切で、色彩、印刷は鮮明で見やすいか。
- (4) 図表等の大きさや配置、レイアウトやバランスが適切であるか。
- (5) 製本は体裁がよく堅ろうであり、環境への配慮があるか。